

タカハシガリレイ

超小型フリーザーが好評に

トンネルフリーザーのタカハシガリレイが、昨年9月にチルド商品の冷却向けに発売した、超小型フリーザーへの需要が高まっている。

食品工場において惣菜や練り製品などの生産量を増大するとき、工場の増築や改築が難しくても、超小型フリーザーは容易に設置できる。

例えば、既存の冷却ラインにおいて超小型フリーザーにより前工程で商品の予冷を行い、本冷却の冷却速度を向上させることで、生産量をアップする。フリーザーをモジュール化することが可能で、食品工場における現有スペースをそのまま利用することができる。

超小型フリーザーは小型化とともに、コンベア取り出し、冷凍機の一体化などの機能の改善も進めた。フリーザーの洗浄性の向上と日常点検の簡易化が行える。独自の独立スリットノズルを

採用し、高速ジェット噴流により効率的に冷却する。

同社は「将来的には小売店舗で導入していただき、調理した惣菜などを急速冷却し、衛生面を保ちながら、お持ち帰り等のサービスも提供できることを目指す」としている。

アルコールフリーザー「LSHOCK」

今年4月から、真空製品の急速冷凍などに威力を発揮する、アルコールフリーザー「LSHOCK」(エルショック)を発売した。これまで宇部工業がウルトラフリーザーとして販売していたが、同社での販売が終了したため、商品名を変更し、タカハシガリレイが販売を継続することとなった。

「LSHOCK」で採用しているアル



MILABではユーザーの見学と実検依頼を受け付けている

コールなどの液体は、気体よりも約20倍も熱伝導率が良い。袋物商品の超急速凍結に適しており、高品質で味の良い商品を生産することができる。

タカハシガリレイは、旧福島グループが昨年12月にGALILEIグループへ名称変更したことに伴い、社名を高橋工業から変更した。GALILEI本社ビル(大阪市西淀川区)の1階に、実験室を兼ねたユーザー参加型の開発施設「MILAB」(ミラボ)を設け、グループ全体でユーザーと共に新たな創造を目指している。

▼問い合わせ先：電話06-6471-0863

アンリツインフィビス

タブレット食品用金属検出機

アンリツインフィビスが販売している、タブレット・カプセル形状の食品に混入する金属異物を検出する「タブレット食品用金属検出機」が好評だ。

従来の金属検出機は、包装後の食品の金属検査をするベルト搬送方式が主流だったが、同検出機は包装前の食品をスロープ(シュート)で搬送しながら検査する。ユーザーの要望に基づき開発し、2019年8月から発売した。

マーケティング部の澤野啓二担当部長は「当社の技術サポート体制を信頼するユーザーが、このカテゴリーの商品の開発を求めている。包装前の食品



ユーザーの要望に応えた「タブレット食品用金属検出機」

をシュート搬送しながら金属異物を高感度検出する検証ができたため商品化に踏み切った。業界における従来の既設機に対して、ユーザーが改善を求めているところに着目し、開発することができた」と語る。

同金属検出機は、食品が持つ磁界に与える影響値を下げる専用アルゴリズムにより、鉄、ステンレス、アルミなどの金属異物を高感度に検出する。

耐震性に優れ、生産中の誤作動を抑えて運用することができる。前後装置の振動を受けても、その影響を低減する信号処理により、安定した検出感度を維持。深夜など作業者がいない環境

でも安心して稼働させることが可能だ。

日常の交換・洗浄作業を行う、シュート・選別部といった商品の接触部はすべて工具レスで着脱でき、丸洗い洗浄が可能な構造となっている。

選別部はフリップ方式の2方向選別を採用している。フェールセーフ機構を搭載しており、NG品が誤って後段に流失することを確実に防止する。

オリジナル&ハイレベルがモットー

澤野担当部長は「当社はオリジナル&ハイレベルをモットーに、自社開発中心の製品を製造し、販売している。高感度、高安定性と直観的操作、サニタリー性、電子記録への対応など、管理者や作業者に負荷をかけることなく、HACCP対応や品質向上、生産性向上につながる価値を提供することを目指している」と語った。

▼問い合わせ先：電話046-296-6728